

## さよなら昭和の近代遺産

### ～取り壊される旧都跡村役場を見学し、奈良市の中西部を散策するツアー

昔なつかしい木造校舎のような旧庁舎。建築史上、古都奈良の近代和風の特徴をなす貴重な建物であることが、奈良県教育委員会などの調査でわかりました。小さな庁舎と議事堂が共に残された市有財産ですが、地元の集会施設を建設するため、市はまもなく取り壊し工事に着手します。

ツアーは、美しい水辺の垂仁陵のあたりをスタートし、尼辻町の素朴な家並みを経て、まちの文化財たる旧都跡（みあと）村役場（奈良市四条大路五丁目）の建物を見学します。この後、法蓮造りの茅葺き、旧田中家住宅（市指定文化財）を訪問し、唐招提寺の界限を経て、近鉄西ノ京駅前で解散します。

市の中西部の散策会は珍しい機会です。

二次会は、有志のみなさま方と近鉄西大寺駅近くの居酒屋で予定しています。「これからの近代建築の保存と活用」の談義で盛り上がりましょう。

#### 記

- 1、日 時 平成26年8月17日（日）
- 2、集合場所 近鉄尼ヶ辻駅 午後2時
- 3、案内人 浅野 詠子（ジャーナリスト）
- 4、会 費 500円
- 5、意見交流会あり（居酒屋の二次会を予定、近鉄西大寺駅近く）
- 6、申し込み・連絡先 松下 090-9058-6761

（参考） ■…奈良市内に残る主な近代和風建築～重厚な構造に優美な瓦屋根…■

- 1902（明治35）年 旧奈良県物産陳列所（現・奈良博の仏教美術資料研究センター）
- 1908（明治41）年 旧県立図書館（郡山城址に移築、県指定文化財）
- 1909（明治42）年 奈良ホテル開業 ～設計は辰野金吾
- 1930（昭和5）年 奈良基督教会堂（登録有形文化財）～瓦屋根に十字架
- 1933（昭和8）年 旧都跡村役場（奈良市の市有財産）→残念、消えてしまう！
- 1934（昭和9）年 旧JR奈良駅舎（現・奈良市観光案内所）～旧鉄道省時代

※奈良で近代和風が誕生するきっかけは1894年建築の旧帝国奈良博物館本館（現・奈良国立博物館、重文）のデザインが「洋風すぎると」いう県議会の景観論争。